

新幹事のご紹介



幹事 藤田 竜樹 (6期生)

この度、校友会幹事に就任しました6期生の藤田竜樹です。私は現在、京都地方検察庁に勤務しております。烏丸御池在住の地の利を活かして校友会に貢献していきたいので、よろしくお願いいたします。



幹事 古川 晃平 (6期生)

この度、校友会幹事になりました、古川晃平と申します。公務研究科校友会の歴史を作り、末永く盛り上げていけるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

長濱人語

「さざなみや 志賀の都は 荒れにしを 昔ながらの 山桜かな」

これは平家物語に出てくる歌の一つです。意味は志賀の旧都はもう荒れ果ててしまったが、長等山の山桜は春が来るたびに咲き昔ながらの姿をとどめ置いてくれるものだということで人間界の移り変わりの速さと、自然界の変わらぬ姿を対比させている歌だといわれています。ひょっとしたら皆さんも高校生のときに古典の授業で習ったかもしれません。それでは、この歌に関する話を紹介します。

寿永2年(1183)源氏の勢いは日を追って増し、平氏は都落ちします。都は源氏の支配下の中、有名な歌人藤原俊成のもとに数名の供を連れた一人の立派な武者が現れます。その名は平忠度。平清盛の異母弟でもある人物です。忠度は敵陣の中であるにも関わらず都へと引き返してきました。それは歌の師であった俊成に自分の歌稿を託すためです。もしよい歌があったら勅撰集に自分の歌を入れてほしいと言い残し、忠度はその場を後にしました。その思いを汲んで、俊成は先ほどの歌を千載和歌集の「故郷の花」という題の一首によみびとしらずとして選びました。当時の社会的状況から見て、名前を載せるのは憚られたためにこのような処置がとられました。それから40年後に編纂された勅撰和歌集以降では、平忠度の名で十首入集しています。忠度はその後、一ノ谷の戦いで討死にします。打ち取った源氏方の武士もはじめ誰かわからなかったが、箆に縫い付けられていた和歌と忠度の名が記されていたことで声高に打ち取ったことを叫びました。忠度の討死にを知った者は敵味方関係なく、文武に優れた人物が亡くなったとその死を惜しんだといわれています。

最後に忠度の官位名薩摩守は無賃乗車をする俗語としても有名です。狂言に渡し船を無銭で乗ろうとした僧侶の話が「薩摩守」という題目であります。それはなぜか、今回の話の主人公の名前が忠度(ただのり)だからです。でも、してはダメ、絶対。

第4回 総会のご案内

2014年10月18日（土）

@立命館大学 朱雀キャンパス

第1部 第4回総会 午後3時～

第2部 懇親会 午後4時～



終身会費納入のお願い

終身会費の納入はインターネットでの振込が便利です。

校友会の各事業は、会員の皆様からの終身会費（10,000円）によって支えられています。校友会活動を安定的に展開、発展させていくために、終身会費の納入にご協力ください。

【振込先】

京都銀行 二条駅前支店 普通預金 1024124

口座名義 立命館大学公務研究科校友会 事務幹事 高見澤篤

- ・お振込の際、振込人氏名の前に入学年度を西暦でつけてください。（例：2007コウム タロウ）
- ・振込手数料はご負担ください。

なお、納入いただいた方には記念品をお送りしております。

rippo@st.ritsumei.ac.jpまでご一報ください。

※インターネットでの振込みには、口座を開設している銀行に「インターネットバンキング」の申込が必要です。
申込は各銀行のホームページから可能です。

現住所報告のお願い

幹事会では、会報や総会・懇親会のご案内を会員の皆様のお手元に確実にお届けするため、現在、現住所確認の取り組みを進めています。現在の登録住所が現住所、帰省先の如何に関わらず、一度下記宛、現住所の報告をお願いします。（お名前も忘れずに記載してください。）

報告先：rippo@st.ritsumei.ac.jp

編集後記

残暑もまだまだ厳しい今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、皆様のご協力のもと、公務研究科校友会第6号会報を発行することが出来ました。公務研究科校友会も発足してから4年目に突入し、公務研究科修了生の輪も大きくなり、校友同士のつながりがより深く強いものになってきているように感じています。この会報を通じて、公務研究科の学生生活を思い出していただくとともに、懐かしんでいただけたら有り難いです。暑い日が続いておりましたが、涼しい秋は目の前です。皆さん頑張ってください。

公務研究科 5期生 初井 隆宏